

## みそづくり、ミズナ栽培、清掃ボランティア・・・・



主婦 皆川 美代子さん (宇治田原町)

郷之口の古風な自宅を訪ねると、玄関の上がりかまちにパックに詰めたみそがいくつか置かれていた。皆川さんら主婦 5 人の「下町茶の実グループ」が「きらめき工房」の名前で製造、販売している商品で、35年の実績がある。学校給食に納めているほか町外からも注文があり、地元産品の店でも売れ行き好調だそうだ。自宅近くの工場を見学させてもらうと、壁には表彰状がずらりと並んでいた。

学校を卒業すると、和裁の技術を習得し、家業の農業に励みながら、農閑期は針仕事に精を出してきた。

「いまは目も悪くなって夜なべもできませんが、娘の嫁入り支度は全部、私が 縫ってやりました」

農業でも、平成元年に府の女性農業士に認定され、リーダーとして13年前からミズナのハウス栽培に取り組んでいる。これには大学事務員を定年退職した夫の義一郎さんも協力している。

皆川さんの活動は、それだけではない。グループ「竹ぼうき」での地区の清掃ボランティア、町が介護予防に実施している「元気はつらつ若返り塾」への参加、男女約80人の混声合唱団・シルバーコーラスや大正琴の練習や発表会、とにかくスケジュールを聞いているだけで忙しい。

「家族の協力があるからできるのですが、やることがあるから元気なんです」 73歳とはとても思えない動作で、顔つやも輝いていた。